



愛知県公館 エントランス

名古屋市中区三の丸3丁目2-3

竣工／2023年10月

木材使用量／2.4803㎡（あいち認証材）

木材使用面積／天井網部25.7㎡、天井球体1.2㎡

飾棚9.2㎡、花台（木部）4.9㎡

施主／愛知県 使用樹種／スギ、ヒノキ

デザイン・施工／株式会社アーティストリー

受賞歴／日本空間デザイン賞2025

最先端の3D木材技術で来賓をお出迎え

県産木材のPRや利用促進を目的に、エントランス内部の天井や飾棚の木質化を行い、2023年10月に完成した。

モノづくりが盛んな愛知県の象徴として、最先端のモデル技術と最新の工作機械による加工を駆使して木材を有機的な曲線に削り上げ、家具職人の匠の技で組立てた。

伝統的な組み細工や格子を連想する網目状のデザインの中に、日々生み出される新たなイノベーションを天井の球体「傑作の源」として表現し、直線と曲線による柔らかなデザインは、新たな木の使い方を発信している。

